

OECD 生徒の学習到達度調査(PISA) 2009年 総合読解力の結果

表1 総合読解力における習熟度レベル別の生徒の割合 (数字はパーセント)

	レベル 1b 未満	レベル 1b	レベル 1a	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6
日本	1.3	3.4	8.9	18.0	28.0	27.0	11.5	1.9
オーストラリア	1.0	3.3	10.0	20.4	28.5	24.1	10.7	2.1
カナダ	0.4	2.0	7.9	20.2	30.0	26.8	11.0	1.8
フィンランド	0.2	1.5	6.4	16.7	30.1	30.6	12.9	1.6
フランス	2.3	5.6	11.8	21.1	27.2	22.4	8.5	1.1
ドイツ	0.8	4.4	13.3	22.2	28.8	22.8	7.0	0.6
アイルランド	1.5	3.9	11.8	23.3	30.6	21.9	6.3	0.7
イタリア	1.4	5.2	14.4	24.0	28.9	20.2	5.4	0.4
韓国	0.2	0.9	4.7	15.4	33.0	32.9	11.9	1.0
ニュージーランド	0.9	3.2	10.2	19.3	25.8	24.8	12.9	2.9
イギリス	1.0	4.1	13.4	24.9	28.8	19.8	7.0	1.0
アメリカ	0.6	4.0	13.1	24.4	27.6	20.6	8.4	1.5
オランダ	0.1	1.8	12.5	24.7	27.6	23.5	9.1	0.7
OECD平均	1.1	4.6	13.1	24.0	28.9	20.7	6.8	0.8
香港	0.2	1.5	6.6	16.1	31.4	31.8	11.2	1.2
台湾	0.7	3.5	11.4	24.6	33.5	21.0	4.8	0.4
シンガポール	0.4	2.7	9.3	18.5	27.6	25.7	13.1	2.6
上海	0.1	0.6	3.4	13.3	28.5	34.7	17.0	2.4

2009年 数学的リテラシーの結果

表6 数学的リテラシーにおける習熟度レベル別の生徒の割合（数字はパーセント）

	レベル1未満	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6
日本	4.0	8.5	17.4	25.7	23.5	14.7	6.2
オーストラリア	5.1	10.8	20.3	25.8	21.7	11.9	4.5
カナダ	3.1	8.3	18.8	26.5	25.0	13.9	4.4
フィンランド	1.7	6.1	15.6	27.1	27.8	16.7	4.9
フランス	9.5	13.1	19.9	23.8	20.1	10.4	3.3
ドイツ	6.4	12.2	18.8	23.1	21.7	13.2	4.6
アイルランド	7.3	13.6	24.5	28.6	19.4	5.8	0.9
イタリヤ	9.1	15.9	24.2	24.6	17.3	7.4	1.6
韓国	1.9	6.2	15.6	24.4	26.3	17.7	7.8
ニュージーランド	5.3	10.2	19.1	24.4	22.2	13.6	5.3
イギリス	6.2	14.0	24.9	27.2	17.9	8.1	1.8
アメリカ	8.1	15.3	24.4	25.2	17.1	8.0	1.9
オランダ	2.8	10.6	19.0	23.9	23.9	15.4	4.4
OECD平均	8.0	14.0	22.0	24.3	18.9	9.6	3.1
香港	2.6	6.2	13.2	21.9	25.4	19.9	10.8
台湾	4.2	8.6	15.5	20.9	22.2	17.2	11.3
シンガポール	3.0	6.8	13.1	18.7	22.8	20.0	15.6
上海	1.4	3.4	8.7	15.2	20.8	23.8	26.6

2009年 科学的リテラシーの結果

表7 科学的リテラシー習熟度レベル別の生徒の割合 (数字はパーセント)

	レベル1未満	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6
日本	3.2	7.5	16.3	26.6	29.5	14.4	2.6
オーストラリア	3.4	9.2	20.0	28.4	24.5	11.5	3.1
カナダ	2.0	7.5	20.9	31.2	26.2	10.5	1.6
フィンランド	1.1	4.9	15.3	28.8	31.2	15.4	3.3
フランス	7.1	12.2	22.1	28.8	21.7	7.3	0.8
ドイツ	4.1	10.7	20.1	27.3	25.0	10.9	1.9
アイルランド	4.4	10.7	23.3	29.9	22.9	7.5	1.2
イタリア	6.1	14.5	25.5	29.5	18.6	5.3	0.5
韓国	1.1	5.2	18.5	33.1	30.4	10.5	1.1
ニュージーランド	4.0	9.4	18.1	25.8	25.1	14.0	3.6
イギリス	3.8	11.2	22.7	28.8	22.2	9.5	1.9
アメリカ	4.2	13.9	25.0	27.5	20.1	7.9	1.3
オランダ	2.6	10.6	21.8	26.9	25.3	11.2	1.5
OECD平均	5.0	13.0	24.4	28.6	20.6	7.4	1.1
香港	1.4	5.2	15.1	29.4	32.7	14.2	2.0
台湾	2.2	8.9	21.1	33.3	25.8	8.0	0.8
シンガポール	2.8	8.7	17.5	25.4	25.7	15.3	4.6
上海	0.4	2.8	10.5	26.0	36.1	20.4	3.9

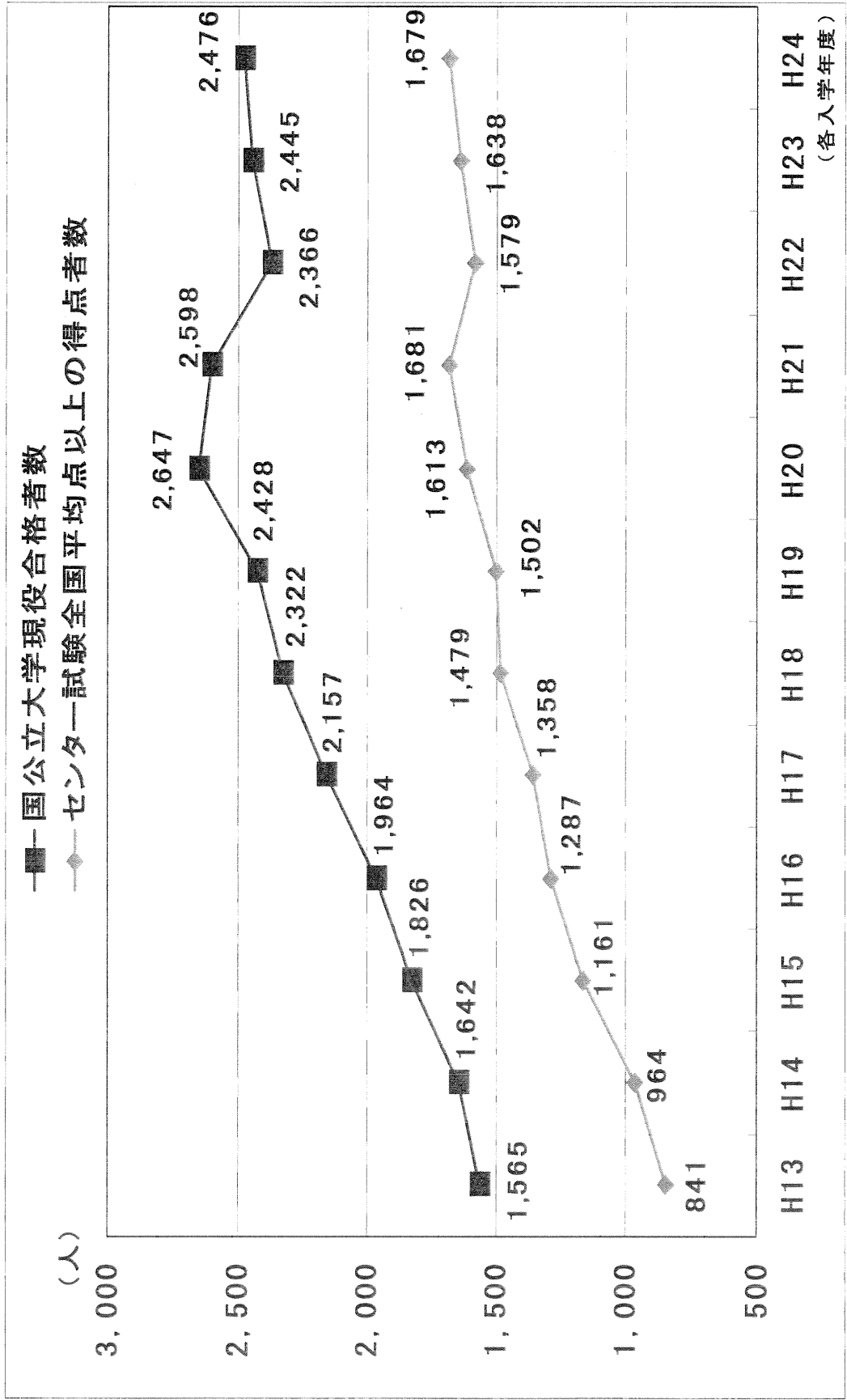
公立高等学校共通学力テストほぼ7割の平均正答率

	国語 (B問題)	数学 (B問題)	外国語 (B問題)
H14	67.0	63.2	59.1
H15	65.1	53.1	53.9
H16	76.0	69.9	73.0
H17	76.1	69.1	70.6
H18	72.1	65.9	71.2
H19	72.2	64.9	65.7
H20	77.1	73.5	74.8
H21	71.8	64.1	71.7
H22	72.2	73.2	71.1

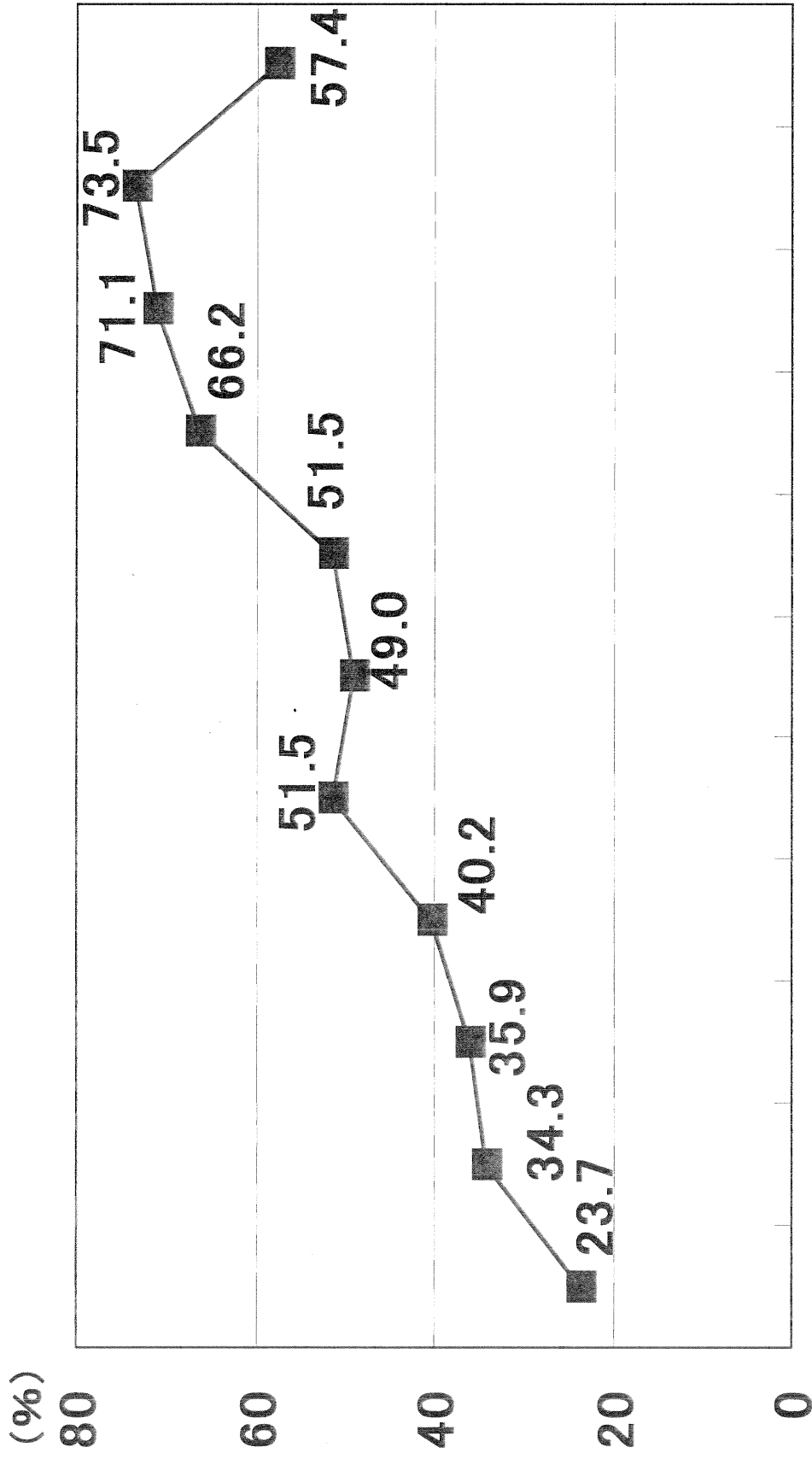
(%)

注) B問題は、中学校の学習内容約3割、高等学校の学習内容約7割で構成

国公立大学現役合格者数及び 大学入試センター試験全国平均点以上の得点者数の増加（県立高校）



体力運動能力着実に改善 全国運動能力調査 平均以上の種目の割合

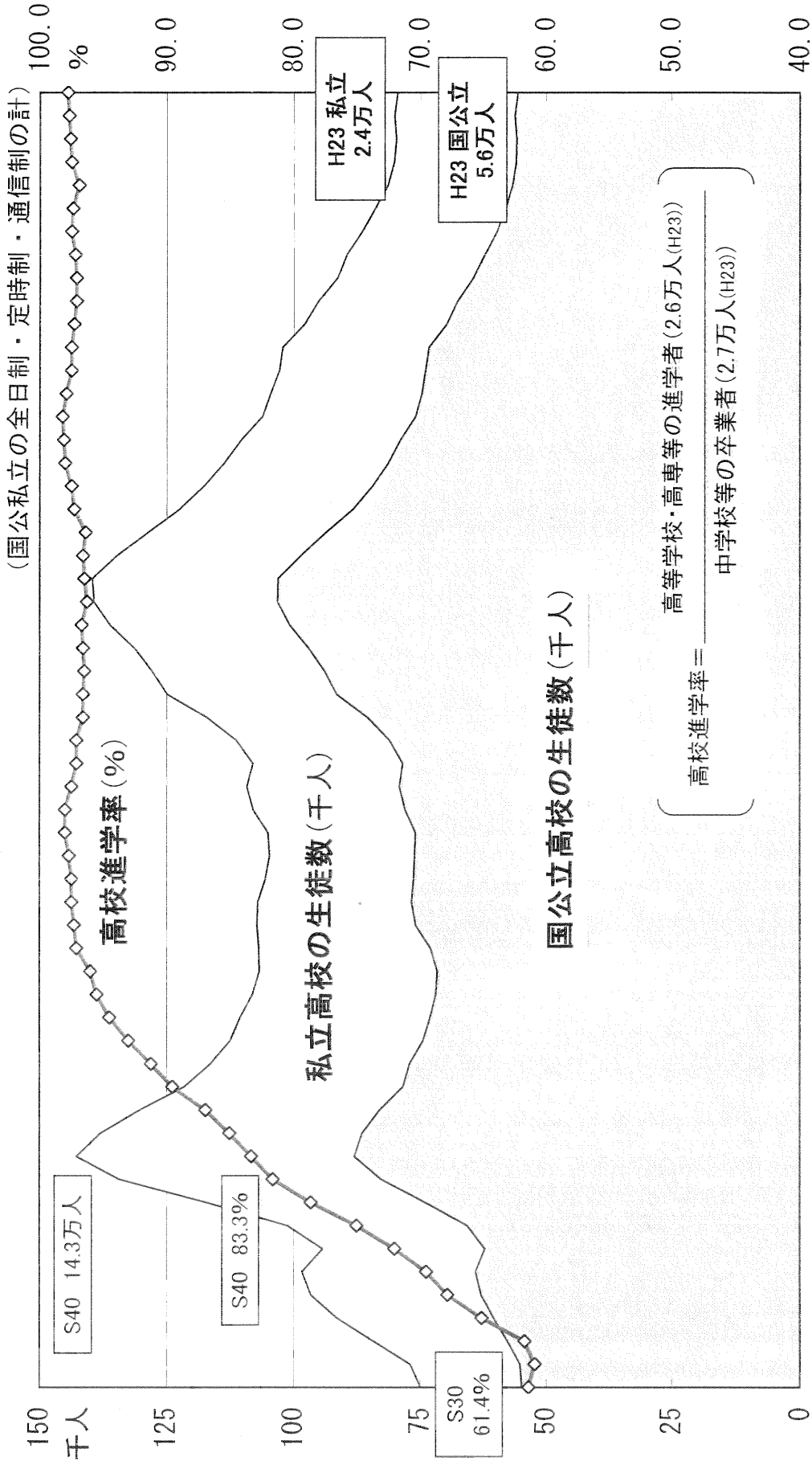


H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23

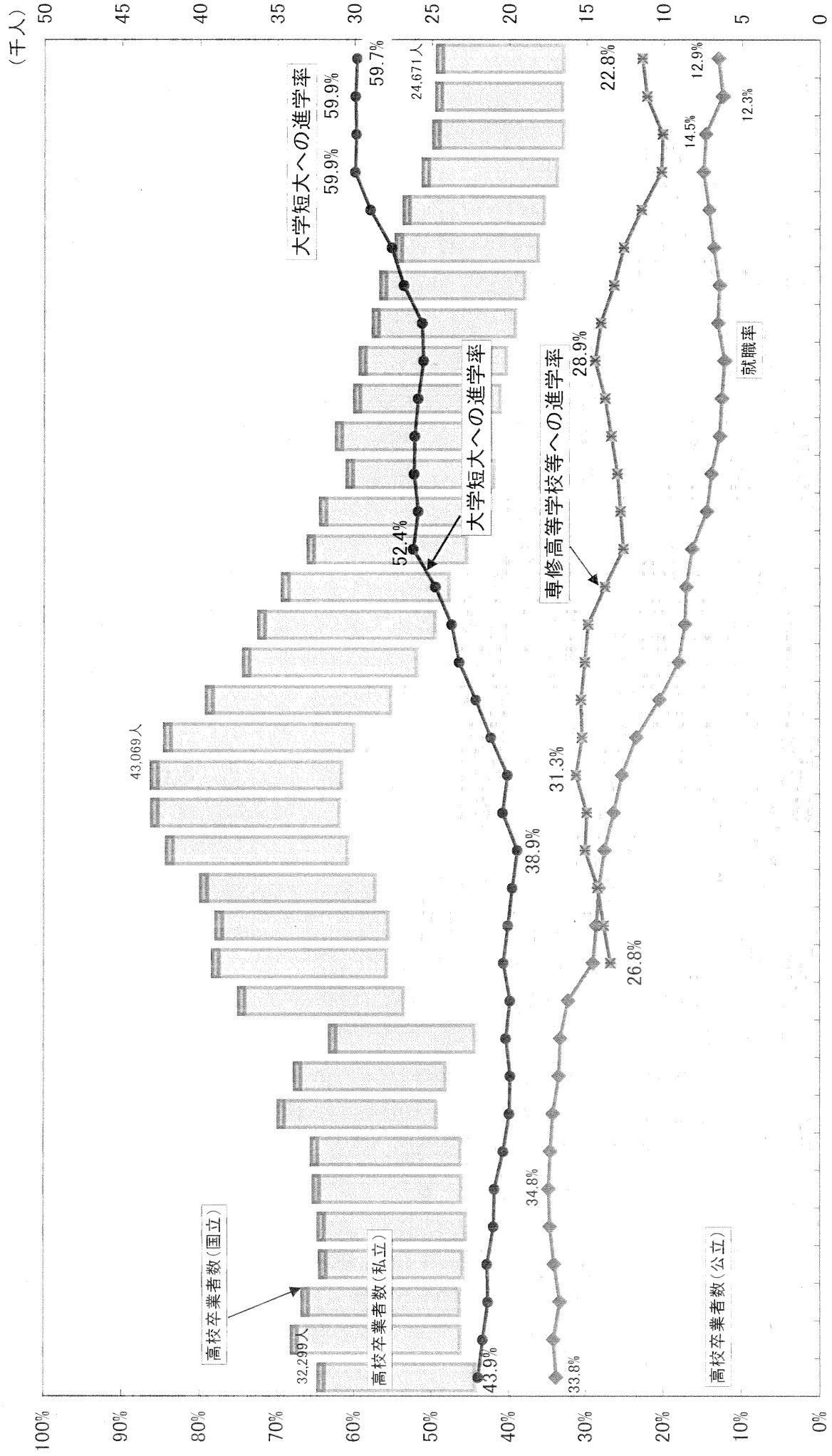
<公立小・中・高(6歳～17歳)>

高等学校等への進学率の推移(広島県 国公私)

高等学校等への進学率は着実に向上し、昭和44年度に90%を超えた

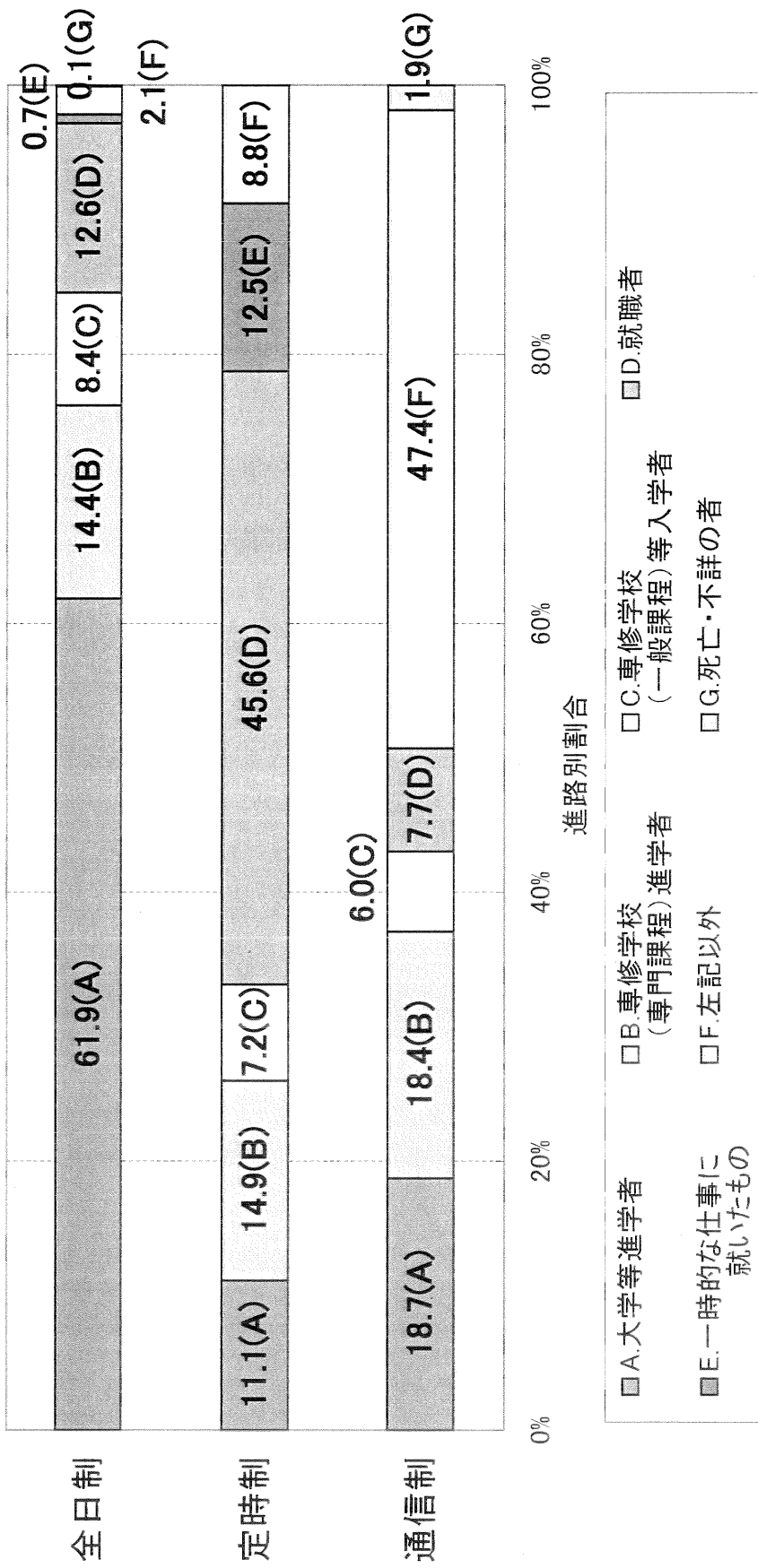


高等学校卒業者の進路の推移(広島県 国公私)



注: 年度は大学等への入学または就職した年度。卒業生数はその前年度卒業生数。注: 平成3年度から「就職しかつ専修学校等へ入学している者」について、専修学校等への進学者として扱っている。平成2年度以前は就職者として扱っている。

高等学校卒業後の進路(課程別) (広島県 国公私)

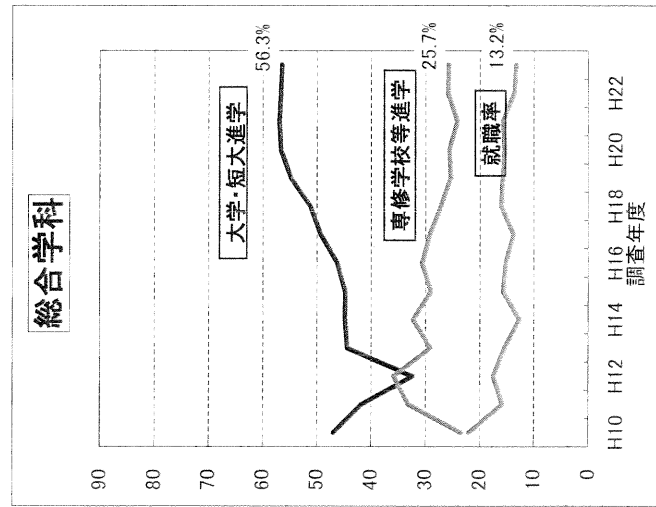
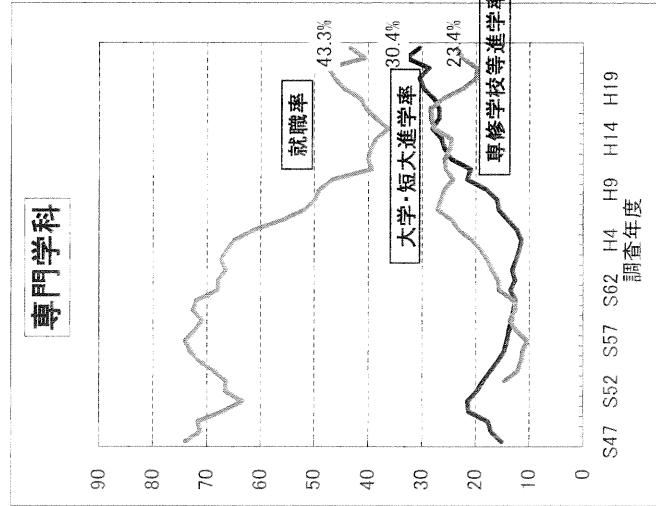
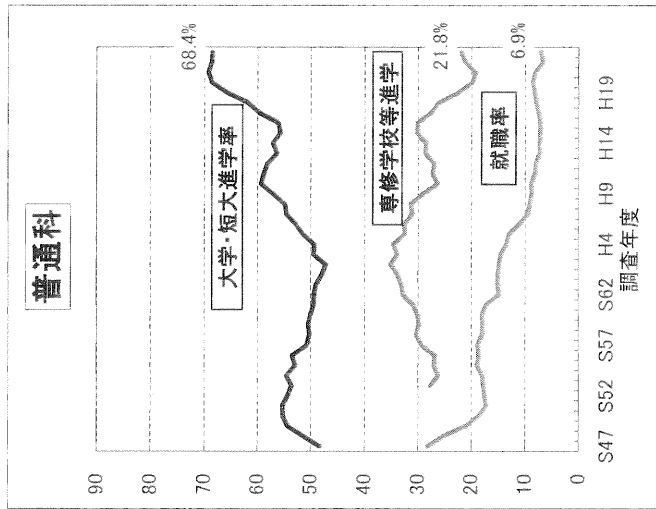


※ 全日制及び定時制課程については、各年5月1日現在の状況を、通信制課程においては、当該年度間の卒業者についての状況についての集計。
 ※ 専修学校(一般課程)等の入学者には、公共職業能力開発施設等を含む。
 ※ 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校に入学した者又は、A～Eに該当しない者で進路が未定であることが明らかでない者。ただし、通信制においては、「一時的な仕事に就いたもの」という調査項目はない。

文部科学省 学校基本調査(平成23年度)

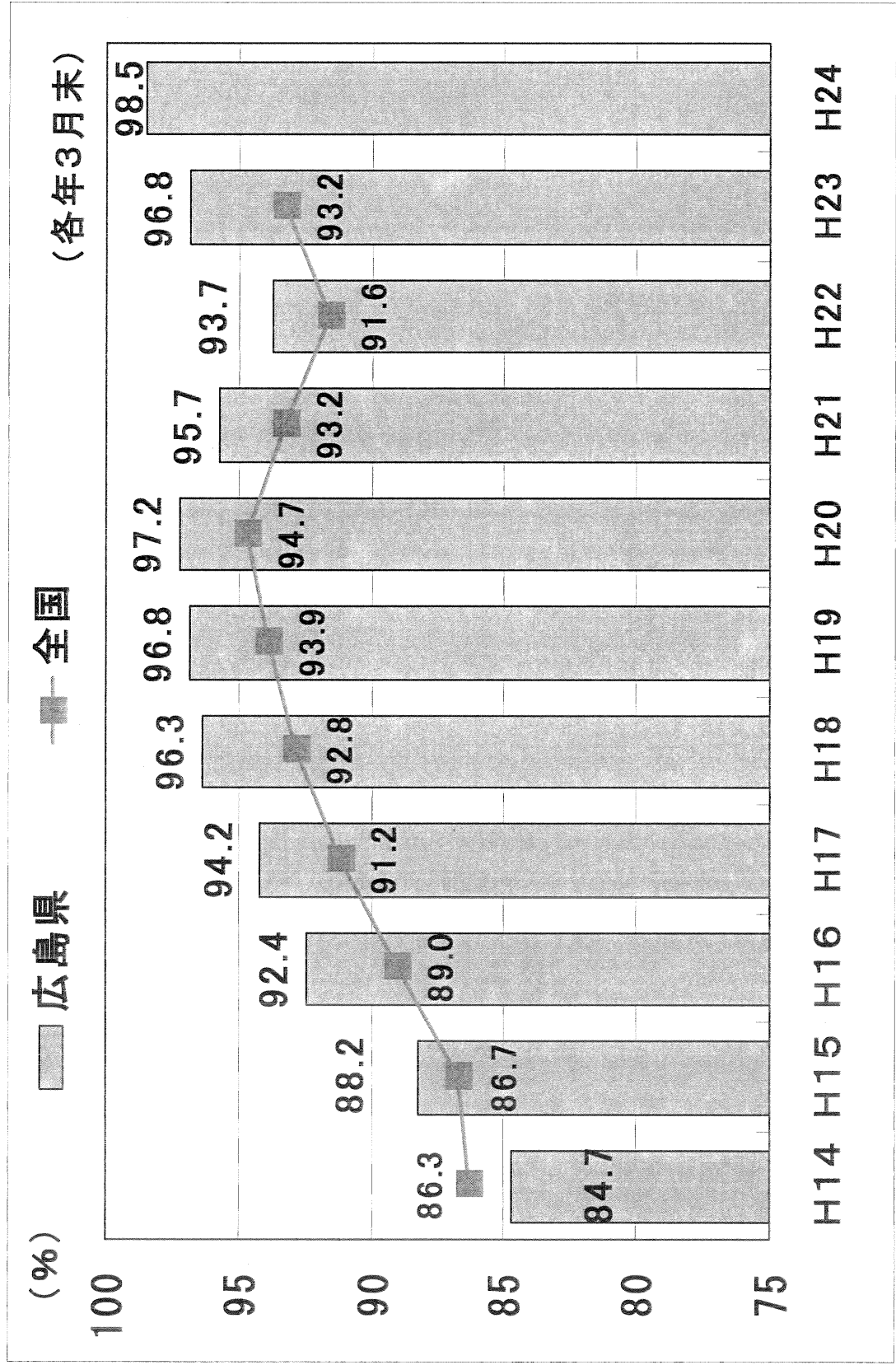
学科別高等学校卒業者の進路の推移 (普通科・専門学科・総合学科別) (広島県 公立)

普通科、専門学科、総合学科ともに大学・短期大学進学率が上昇している。
専門学科卒業生の進路では、依然として就職する者が最も多い。



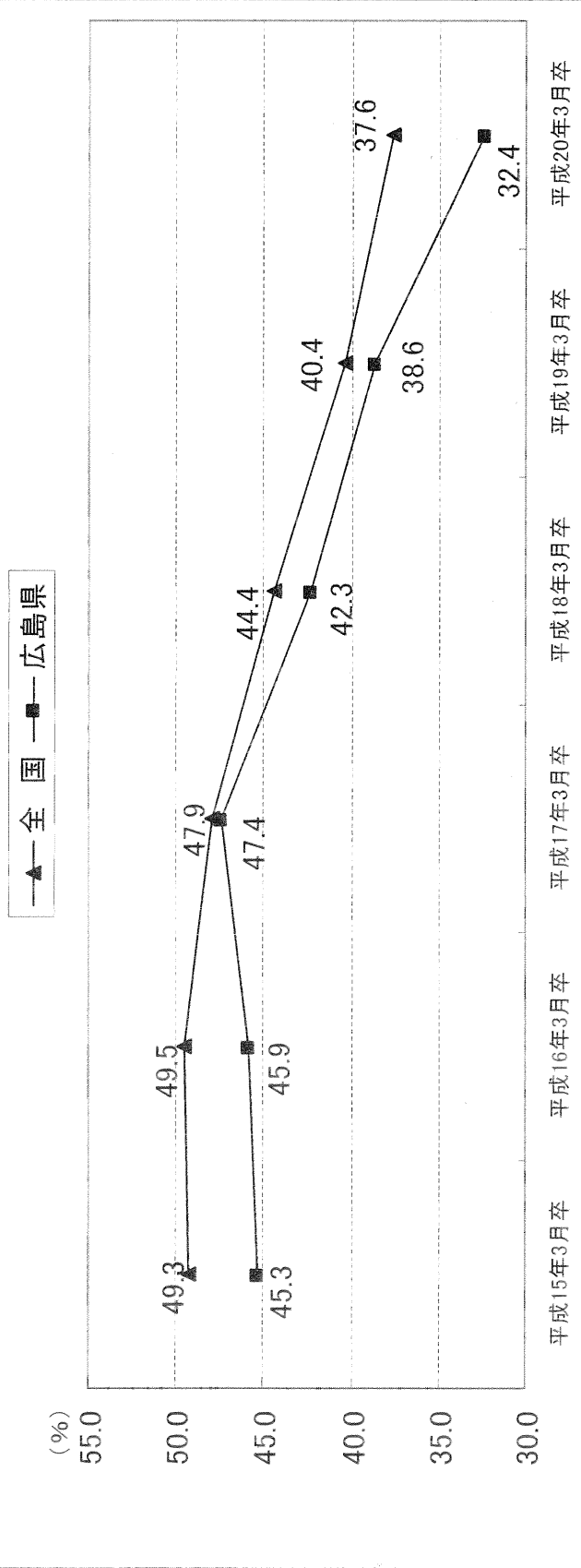
- ※ 全日制・定時制のみ
- ※ 専門学科は、「職業学科」と「その他の学科」の合計
- ※ 「専修学校等」は、専修学校専門課程、専修学校一般課程、公共職業能力開発施設等を指す。
- ※ 「大学短大進学率」は、昭和58年度以前は通信制への進学を除いており、厳密には昭和59年度以降と連続しない

高校生就職率（国・公・私立）



早期離職等の課題

新規高等学校卒業者の離職状況



提供：広島労働局

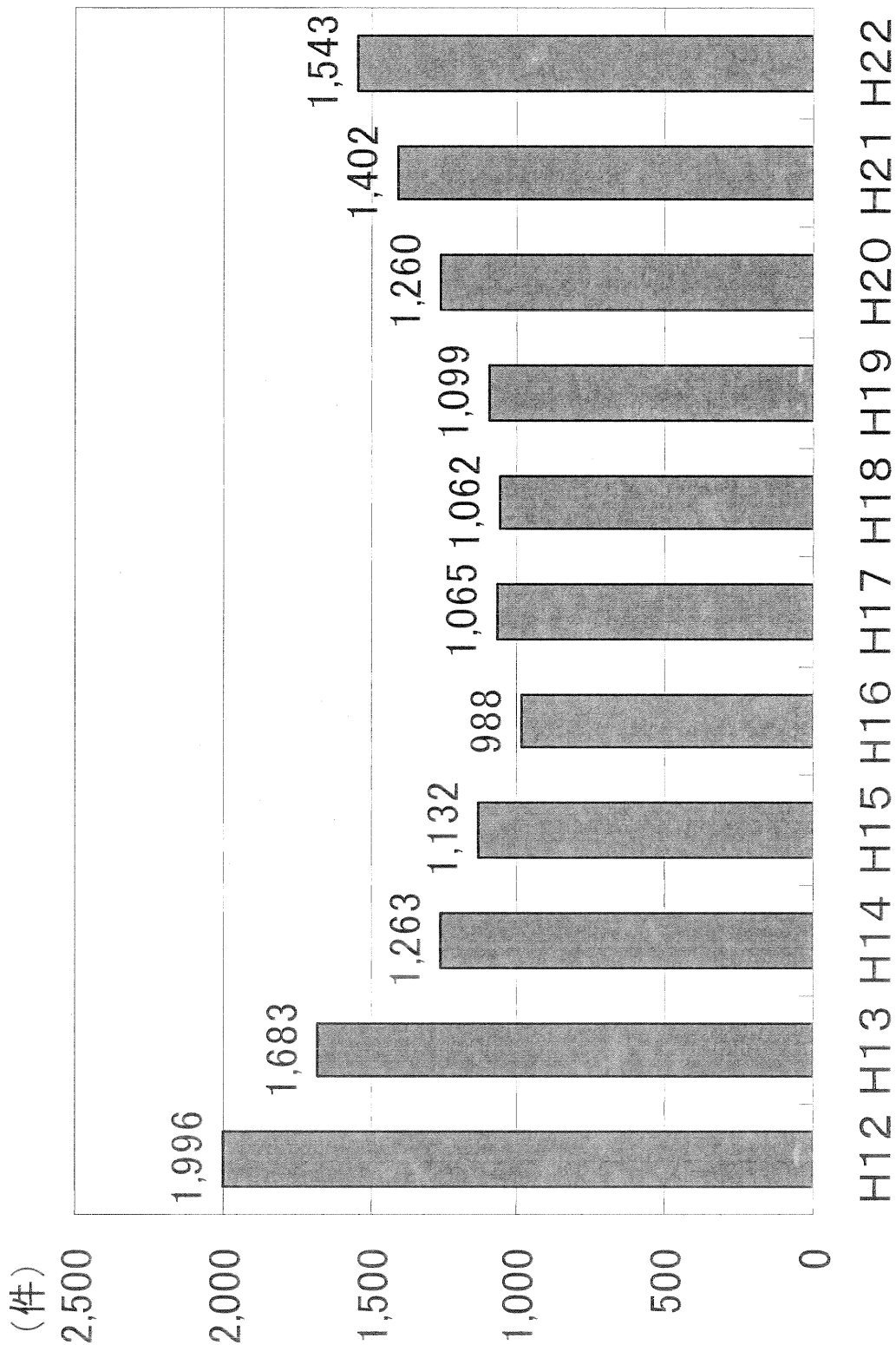
基データは、厚生労働省職業安定局労働市場センター業務室

『新規学校卒業就職者の就職離職状況調査結果』

※このデータは、2年目3年目のデータが更新されるため、前年度同期のデータと異なる場合がある。

また、離職率は、四捨五入の関係で基データの1年目、2年目、3年目の離職率の合計と一致しないことがある。

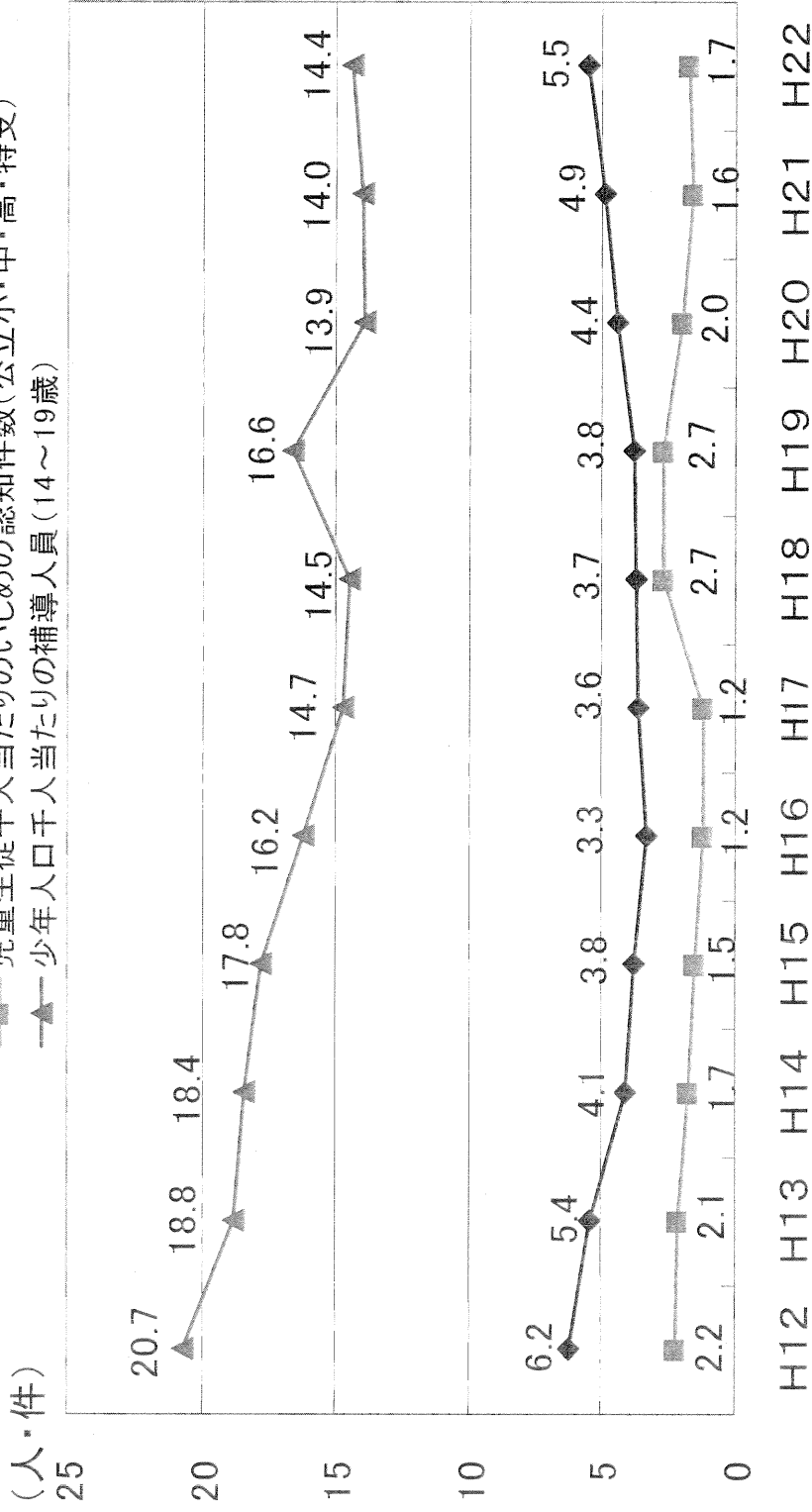
暴力行為の発生件数（公立小・中・高）



※暴力行為：自校の児童生徒が、故意に有形力（目に見える物理的な力）を加える行為

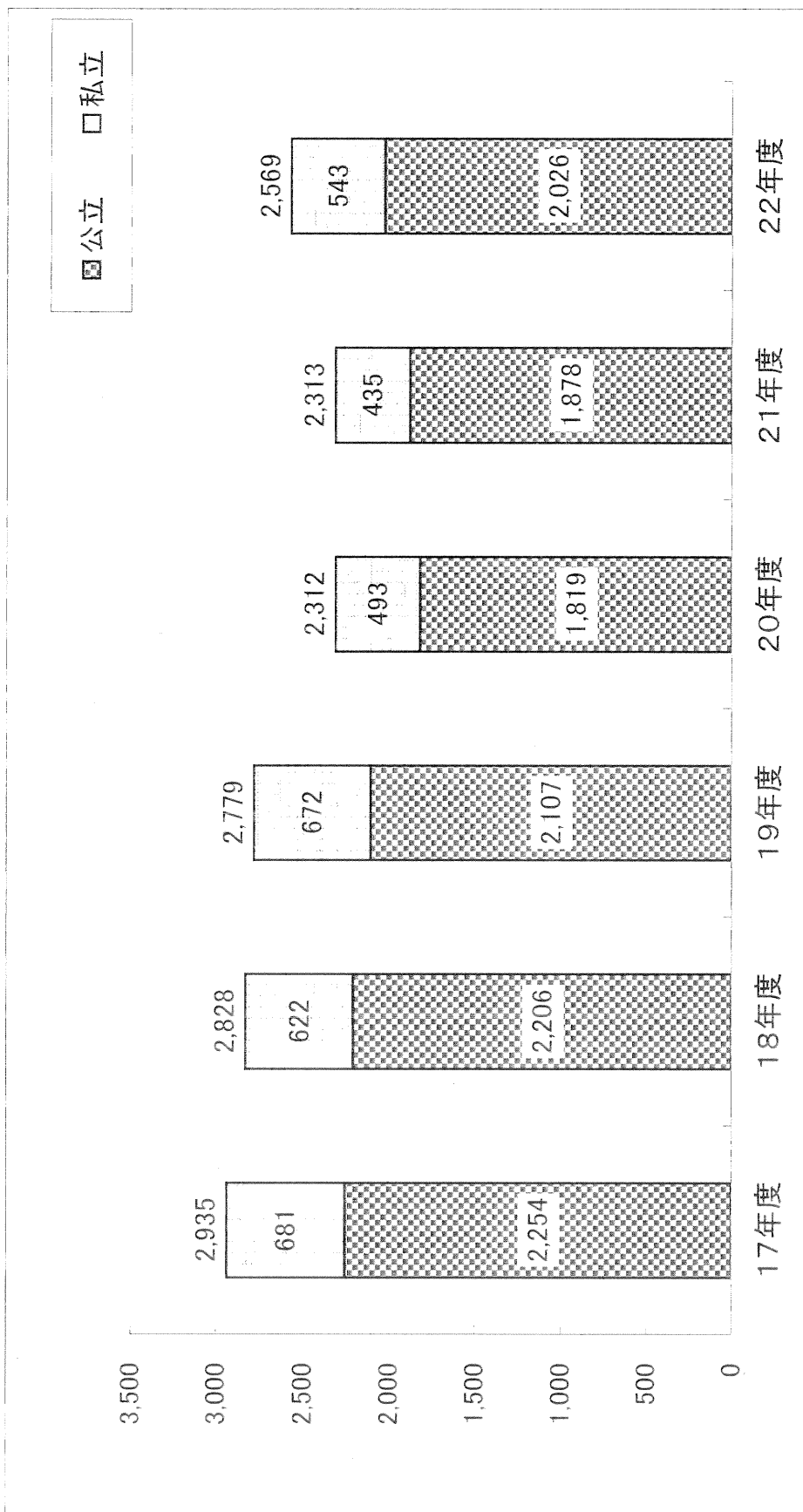
暴力行為、いじめ、補導人員（千人当たり）

- ◆ 児童生徒千人当たりの暴力行為発生件数（公立小・中・高）
- 児童生徒千人当たりのいじめの認知件数（公立小・中・高・特支）
- ▲ 少年人口千人当たりの補導人員（14～19歳）



※H18から調査におけるいじめの定義が見直され、変更後の定義に基づく調査結果による。

高等学校長期欠席者数の推移（広島県 公私）



長期欠席者：文部科学省の学校基本調査において、年度間に連続または断続して30日以上欠席した児童生徒
 不登校：長期欠席者のうち、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況である者」

広島県教育委員会 広島県における生徒指導上の諸問題の現状（速報）について

公立私立高校中途退学率

